

新型コロナワクチン接種 に関するお知らせ



ワクチン接種後も、マスクの着用や手指消毒などの感染予防対策をお願いします！



小児(5～11歳)の接種がはじまりました

Q 接種する量や回数はいくらですか？

A 小児は、現在、ファイザー社ワクチンを使用することとされています。12歳以上の成人用の3分の1の量を3週間の間隔で2回接種します。

Q 1回目接種後、2回目の接種前に12歳になった場合、どうすればいいですか？

A 1回目に小児ワクチンを接種した場合、2回目が12歳になった後でも1回目と同じ小児ワクチンを接種します。

Q なぜ、小児の接種が必要なのですか？

A 国内における小児の新型コロナウイルス感染症は、中等症や重症例の割合は少ないものの、オミクロン株の流行に伴い、感染者全体に占める小児の割合が増え、重症に至る症例数が増加傾向にあることが報告されています。

特に基礎疾患を有する等、重症化するリスクが高い小児には接種の機会を提供することが望ましいとされています。

また、小児の行動を制限することを少なくするためにも、小児を対象にワクチン接種を進めることとされました。

Q そのほかのワクチンに関する情報は？

A 新型コロナウイルス感染症に関する情報や、ワクチンに関するそのほかの情報は、市ウェブサイトをご覧ください。



新型コロナウイルス感染症に関する情報



ワクチンに関する情報

Q なぜ小児の接種は「努力義務」が適用されていないのですか？

A 小児用のワクチンは、接種が進められることとなりましたが、以下のことを踏まえ、現時点では、小児について努力義務の規定は適用しないこととなりました。

- ・小児におけるオミクロン株の感染状況が、まだ確定的でないこと
- ・オミクロン株については小児における発症予防効果・重症化予防効果に関する確証が必ずしも十分ではないこと

【努力義務】とは…

「接種を受けるよう努めなければならない」という意味です。

※新型コロナワクチン接種は、感染のまん延を予防のために緊急に実施するものであり、義務でも強制でもありませんが、皆さまに接種のご協力をいただきたいという趣旨で適用されているものです。

※今回の小児の接種では、「努力義務」の規定は適用されておりません。

Q 小児の接種に向けて、保護者が気を付けることはありますか？

A ワクチン接種後数日以内は、接種部位の痛みや倦怠感、頭痛、発熱等さまざまな症状がみられることが多いため、このような症状に注意しながら過ごす必要があります。また、ごく稀ですが接種後に心筋炎を発症した例が報告されています。接種後数日の間に、胸の痛みや動悸、息切れ、むくみなどの症状がみられた場合は、速やかに医療機関を受診し、ワクチンを接種したことを伝えてください。

また、ワクチンの効果は100%ではありません。ワクチン接種後も、引き続き、マスクの着用や手洗い、手指の消毒等基本的な感染対策の継続をお願いします。



◎問い合わせ…健康増進課ワクチン接種推進係 ☎(23)6591 Fax(23)1714